

平成30年度 学校経営案

小美玉市立小川南中学校

本校の現状と課題

【生徒】

- 明るく素直で、落ち着いた生活ができています。
- 行事や特別活動に積極的に取り組むことができます。
- 課題に向き合い積極的に解決しようとする姿勢が十分ではない。
- 家庭学習が習慣化されていない生徒が多い。
- 不登校及び特別な配慮を必要とする生徒が増加傾向にある。

【教員・組織】

- 明るく意欲的で、協力して取り組む雰囲気がある。
- 教師の指導力向上が生徒の学力向上につながることを強く意識する必要がある。
- 特別な配慮を必要とする生徒の支援体制を充実させる。

【保護者・地域】

- 協力的な保護者が多く、学校行事や奉仕活動に積極的である。
- 地域・保護者との連携・協働のさらなる充実を図る必要がある。
- 学校支援ボランティア体制の充実及び地域人材の有効活用を図り、学校の教育力を高めたい。

学校教育目標

これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

【めざす学校像】

- ◇人権を尊重し、心を豊かに育む学校
- ◇生徒が主体的に活動する学校
- ◇地域社会と連携・交流する学校

めざす生徒像

- 知 共に学び合い 新しい価値を創造する生徒
- 徳 不屈の精神と真心をもち 友情を育む生徒
- 体 たくましく丈夫な体をもち 健康に生きる生徒

【めざす教師像】

- ◇判断力があり、変革に対応できる教師
- ◇使命感に燃え、研鑽に励む教師
- ◇生徒を思いやる人間性豊かな教師

《学校経営方針》

- 1 教職員自らが人権尊重の理念を深く認識し、一人一人を大切にしたい学級経営を充実する。
- 2 日々の授業において学び合う授業を実践し、確かな学力の習得とそれらを活用する力を育てる。
- 3 「考え、議論する」道徳科の指導を工夫し、自分の生き方についての考えや自覚を深める。
- 4 特別活動を中心に生徒の自主的活動を推進し、主体的・創造的に活動する生徒の育成に努める。
- 5 お互いを認め、支え合う温かい人間関係づくりを基盤とした生徒指導の充実を努め、生徒の社会性を高める。
- 6 健康・安全に関する自己管理能力を育てる指導を充実させ、運動の習慣化が図れる体育的行事を工夫する。
- 7 学校・家庭・地域社会との連携を深め、「地域とともにある学校づくり」を推進し、より一層の信頼関係を築く。
- 8 服務規律の徹底を図るとともに、協働組織としての職場（チーム南中）づくりに努める。

本年度の組織目標

- ◇ 一人一人の「学び」を大切にしたい授業を実践する。
教育キーワード
友愛 ～ 共に学び、友に学ぶ ～

【主な努力事項】

【確かな学力とそれらを活用する力の育成】

- ・誤答やつまづき、分からなさを大切にしたい学び合いの授業の積極的な推進
〔課題及び学習形態の工夫、学習の振り返りの工夫〕
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
〔学習の約束・家庭学習の手引きの活用〕
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究
〔一人一研究、訪問指導等を活用した授業研究〕
- ・読解力を育てる読書活動の推進
〔学校図書の有効活用と読書推進活動の実施〕
- ・学力診断のためのテストや全国学力・学習状況調査等を生かした課題の把握と指導の工夫

【豊かな心と主体性を育む活動の充実】

- ・人権尊重の精神を教育活動の柱とし、一人一人のよさが発揮される学年・学級集団の育成
〔挨拶、清掃、ボランティア活動等の励行〕
- ・学年・学級経営の充実と生徒一人一人の居場所づくりの推進
〔QUTテストを活用した集団づくり 積極的な生徒指導〕
- ・生き方についての考えを深める道徳科の指導の工夫
〔道徳の授業研究と授業公開 ノートを活用した評価〕
- ・生徒会活動の活性化と話し合い活動の充実
〔委員会活動の工夫・改善 建設的な話し合い活動〕
- ・生徒の主体性を育む学校行事及び学年行事の実施
〔実行委員会活動の推進 各学年のリーダーの育成〕

【健康や体力の保持増進と安全教育の充実】

- ・運動量を確保した体育学習の実践と運動の日常化
〔体力アップ推進プランに基づく実践と評価〕
- ・運動部活動及び特設部（陸上・駅伝）の充実
〔外部講師の活用 顧問会議の活用〕
- ・養護教諭や栄養教諭と連携した健康教育・安全教育・食育の推進
〔外部講師の積極的・効果的な活用 TTでの授業〕
- ・健康・安全に関する自己管理能力の育成
〔家庭との連携（保健だより等の活用）避難訓練の工夫〕
- ・学校事故を未然に防止するための取り組みの充実
〔安全点検の工夫 交通安全指導の徹底〕

【活力ある学校づくりと開かれた学校づくり】

- ・学校運営の参画意識を高め、学校課題の解決に真摯に取り組む集団の育成
〔教員評価の活用 学校評価の実践 教員面談の充実〕
- ・信頼される教師集団をめざし、教育公務員としてのコンプライアンスの遵守
〔3ない運動+3の徹底 コンプライアンス推進委員会の充実〕
- ・地域とともにある学校づくり及び地域との連携強化
〔積極的な情報発信 学校評価の実施と公表〕
- ・学校の課題を解決するため、PTAや学校支援ボランティア、関係機関との連携強化
〔学区内小学校との連携 スクールサポーターの活用〕